



日本生理人類学会
第67回大会プログラム

(2012 年 11 月 10 日)

ご挨拶

日本生理人類学会第 67 回大会
大会長 菊池吉晃

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、日本生理人類学会第 67 回大会を担当させて頂くこととなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

本大会では、2つのシンポジウムを企画いたしました。シンポジウム1「ヒトの情動 ―新たな視点をもとめて―」（座長：宮崎良文先生）におきましては、日本生理人類学会の前会長であります佐藤方彦先生をお招きすることができました。佐藤方彦先生は、あらためてご紹介するまでもなく、今日の生理人類学を築き常に私たちを導いてこられ、そのご功績は高い評価を受け平成 23 年秋の瑞宝中綬章を受章されました。また、NIRS 研究の第一人者で、現在、東京都医学総合研究所のヒト統合脳機能プロジェクトリーダーであります星詳子先生をお迎えいたしました。本シンポジウムでは、従来の情動研究の枠にとらわれないあらたな視点からの研究事例をご紹介し、とくに佐藤方彦先生からは生理人類学的視点からのお考えなどお示し頂きます。合わせて、会場の皆様からも活発なご意見を頂き、情動研究のあらたな方向性について議論させて頂きたいと存じます。シンポジウム2につきましては、現在世界的にも注目されております Neuromarketing に焦点を合わせ、「ニューロマーケティング ―脳科学への期待―」（座長：岩永光一先生）を企画いたしました。シンポジストとして、小早川達先生（産業技術総合研究所）、金田弘拳先生（サッポロホールディングス株式会社）、白土真紀先生（株式会社資生堂）をお招きしました。本シンポジウムでは、我が国におけるニューロマーケティングに関する研究事例などをご紹介し、ニューロマーケティングにおける脳科学の応用可能性について、その問題点も含めて会場の皆様とともに議論させて頂きたいと思っております。

本大会では、9月2日から5日に北京で開催された Inter-Congress 2012 の直後であるにもかかわらず、会員の皆様からは 64 題という多数の一般演題のお申し込みを頂きました。心より御礼を申し上げます。大会会場は、都電荒川線が小気味よい音を立ててのんびりと行き交う東京下町荒川のキャンパスでございます。便利な場所とはいえ難く、皆様にはご不便おかけいたしますが、何卒ご容赦賜りたくお願い申し上げます。本大会の開催におきまして、ご協力とご支援を賜りましたすべての皆様に深く感謝申し上げ、開催のご挨拶とさせていただきます。

協賛企業（五十音順）

| | |
|--------------|--------------|
| 医歯薬出版 株式会社 | 浜松ホトニクス 株式会社 |
| インタークロス 株式会社 | 富士医科産業 株式会社 |
| 京都電子工業 株式会社 | 株式会社 ミユキ技研 |
| 株式会社 資生堂 | 株式会社 モンテシステム |

第 67 回大会実行委員

| | |
|--------------------|----------------|
| 菊池 吉晃（首大学東京） | 大場 健太郎（首都大学東京） |
| 則内 まどか（東京都医学総合研究所） | 森 久美子（首都大学東京） |

歴代大会長および開催地

| 回数 | 会期 | 開催地 | 大会長 | 備考 |
|------|-----------|-----|------|----------|
| 第1回 | 1979年 2月 | 東京都 | 吉田敬一 | 生理人類学懇話会 |
| 第2回 | 1979年 5月 | 東京都 | 佐藤方彦 | |
| 第3回 | 1979年 10月 | 東京都 | 早野村正 | |
| 第4回 | 1980年 5月 | 東京都 | 野中菊池 | |
| 第5回 | 1980年 11月 | 東京都 | 中野山 | |
| 第6回 | 1981年 6月 | 東京都 | 東横山 | |
| 第7回 | 1981年 9月 | 東京都 | 北海田 | |
| 第8回 | 1982年 6月 | 東京都 | 東神奈川 | |
| 第9回 | 1982年 10月 | 東京都 | 神奈川 | |
| 第10回 | 1983年 6月 | 東京都 | 東京 | 生理人類学研究会 |
| 第11回 | 1983年 9月 | 東京都 | 野京 | |
| 第12回 | 1984年 5月 | 東京都 | 東京 | |
| 第13回 | 1984年 11月 | 東京都 | 東京 | |
| 第14回 | 1985年 5月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第15回 | 1985年 11月 | 東京都 | 茨城 | |
| 第16回 | 1986年 5月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第17回 | 1986年 11月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第18回 | 1987年 5月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第19回 | 1987年 10月 | 東京都 | 京都 | |
| 第20回 | 1988年 5月 | 東京都 | 東京 | 生理人類学会 |
| 第21回 | 1988年 11月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第22回 | 1989年 5月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第23回 | 1989年 10月 | 東京都 | 福島 | |
| 第24回 | 1990年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第25回 | 1990年 9月 | 東京都 | 兵庫 | |
| 第26回 | 1991年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第27回 | 1991年 10月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第28回 | 1992年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第29回 | 1992年 11月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第30回 | 1993年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第31回 | 1993年 11月 | 東京都 | 北海道 | |
| 第32回 | 1994年 6月 | 東京都 | 千葉 | 日本生理人類学会 |
| 第33回 | 1994年 11月 | 東京都 | 東京 | |
| 第34回 | 1995年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第35回 | 1995年 11月 | 東京都 | 東京 | |
| 第36回 | 1996年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第37回 | 1997年 5月 | 東京都 | 東京 | |
| 第38回 | 1997年 9月 | 東京都 | 兵庫 | |
| 第39回 | 1998年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第40回 | 1998年 11月 | 東京都 | 秋田 | |
| 第41回 | 1999年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第42回 | 1999年 10月 | 東京都 | 東京 | |
| 第43回 | 2000年 6月 | 東京都 | 福島 | |
| 第44回 | 2000年 11月 | 東京都 | 岡山 | |
| 第45回 | 2001年 5月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第46回 | 2001年 10月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第47回 | 2002年 5月 | 東京都 | 栃木 | |
| 第48回 | 2002年 11月 | 東京都 | 東京 | |
| 第49回 | 2003年 5月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第50回 | 2003年 10月 | 東京都 | 千葉 | |
| 第51回 | 2004年 6月 | 東京都 | 北海道 | |
| 第52回 | 2004年 10月 | 東京都 | 東京 | |
| 第53回 | 2005年 6月 | 東京都 | 長崎 | |
| 第54回 | 2005年 10月 | 東京都 | 宮城 | |
| 第55回 | 2006年 6月 | 東京都 | 東京 | |
| 第56回 | 2007年 6月 | 東京都 | 秋田 | |
| 第57回 | 2007年 10月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第58回 | 2008年 6月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第59回 | 2008年 10月 | 東京都 | 東京 | |
| 第60回 | 2009年 9月 | 東京都 | 北海道 | |
| 第61回 | 2009年 9月 | 東京都 | 東京 | |
| 第62回 | 2010年 5月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第63回 | 2010年 10月 | 東京都 | 千葉 | |
| 第64回 | 2011年 6月 | 東京都 | 福岡 | |
| 第65回 | 2011年 11月 | 東京都 | 大阪 | |
| 第66回 | 2012年 5月 | 東京都 | 長崎 | |

【お知らせ】

会 場： 首都大学東京 荒川キャンパス
〒116-0012 東京都荒川区東尾久 7-2-10

会 期： 2012年11月17日（土）、18日（日）

大会参加費：

10月12日（金）以前

正会員 7000 円、非会員 9000 円、学生会員 3000 円、学生非会員 4000 円

10月13日（土）以降

正会員 8000 円、非会員 10000 円、学生会員 4000 円、学生非会員 5000 円

懇親会費：

正会員 3000 円、非会員 4000 円、学生(学生会員/非会員)1000 円

一般口演の発表要領：

- ・発表 8 分，質疑応答 2 分です。7 分で 1 鈴，8 分で 2 鈴，10 分で 3 鈴を鳴らします。
- ・Windows7，Microsoft PowerPoint 2010 により液晶プロジェクターで発表していただきます。
発表用ファイルを USB メモリに入れて発表会場にお持ち下さい。午前の発表者は発表当日 9 時 10 分までに，午後の発表者は発表当日 13 時 30 分までに PC 受付にてコピーをお済ませください。大会 2 日目午前の発表者はなるべく前日中にコピーをお済ませください。

ポスターの発表要領：

- ・自由討論形式です。演者は、指定された時間（1 日目 13:10-14:10，2 日目 12:50-13:50）にポスターの前で待機してください。
- ・ポスターは、A0 判の大きさ（横 84.1×縦 118.9cm）に収まるように掲示してください。
- ・演者は発表当日 10 時までに所定の場所にポスターを掲示し、大会 1 日目の演者は発表当日 18 時 20 分までに，大会 2 日目の演者は発表当日 16 時 40 分までにポスターを回収してください。

【大会日程】

| 大会1日目 | | 2012/11/17(土) | | |
|-------|------------------|-----------------|-----|------|
| | 第1会場[講堂] | 第2会場[校舎棟・大視聴覚室] | 食堂 | |
| 8:30 | 受付 | | | |
| 9:25 | | | | |
| 9:25 | 開会 | | | |
| 9:30 | | | | |
| 9:30 | 一般口演セッション1 | | | |
| 10:10 | O1-1~O1-4 | | | |
| 10:10 | 一般口演セッション2 | | | |
| 10:50 | O1-5~O1-8 | | | |
| 11:00 | 一般口演セッション3 | | | |
| 12:10 | O1-9~O1-15 | | | |
| 12:10 | 昼休み | | | 評議員会 |
| 13:10 | | | | |
| 13:10 | | ポスターセッション1 | | |
| 14:10 | | P1-1~P1-12 | | |
| 14:20 | 一般口演セッション4 | | | |
| 15:20 | O1-16~O1-21 | | | |
| 15:25 | 一般口演セッション5 | | | |
| 16:25 | O1-22~O1-27 | | | |
| 16:35 | シンポジウム1 | | | |
| 18:10 | ヒトの情動—新たな視点を求めて— | | | |
| 18:20 | | | 懇親会 | |
| 20:20 | | | | |

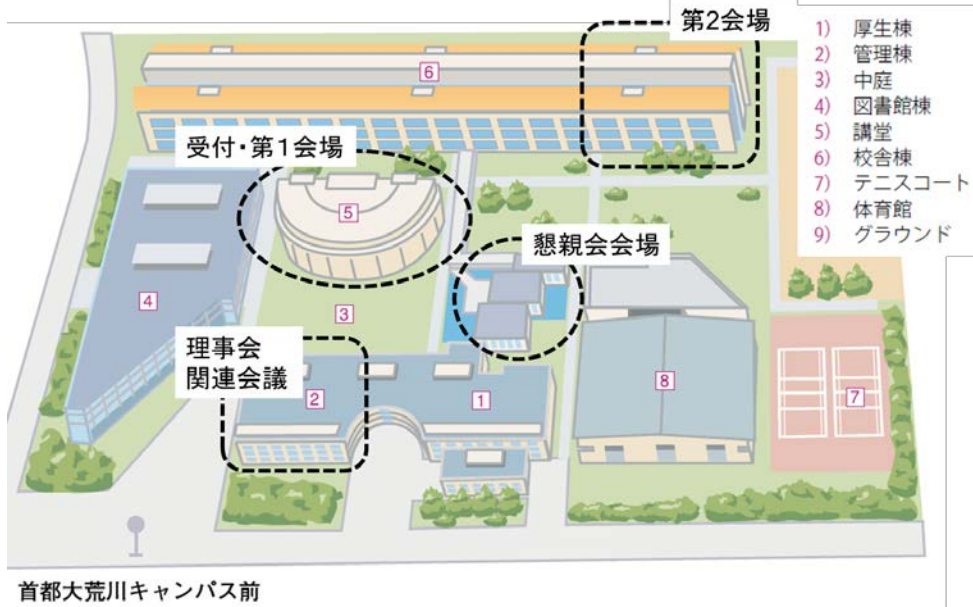
| 大会2日目 | | 2012/11/18(日) | |
|-------|----------------------|-----------------|---------|
| | 第1会場[講堂] | 第2会場[校舎棟・大視聴覚室] | 管理棟・会議室 |
| 9:00 | 受付 | | |
| 9:30 | | | |
| 9:30 | 一般口演セッション6 | | |
| 10:50 | O2-1~O2-8 | | |
| 10:50 | 総会 | | |
| 11:50 | | | |
| 11:50 | 昼休み | | 関連会議 |
| 12:50 | | | |
| 12:50 | | ポスターセッション2 | |
| 13:50 | | P2-1~P2-12 | |
| 14:00 | 一般口演セッション7 | | |
| 14:50 | O2-9~O2-13 | | |
| 15:00 | シンポジウム2 | | |
| 16:30 | ニューロマーケティング—脳科学への期待— | | |
| 16:30 | 閉会 | | |

関係会議

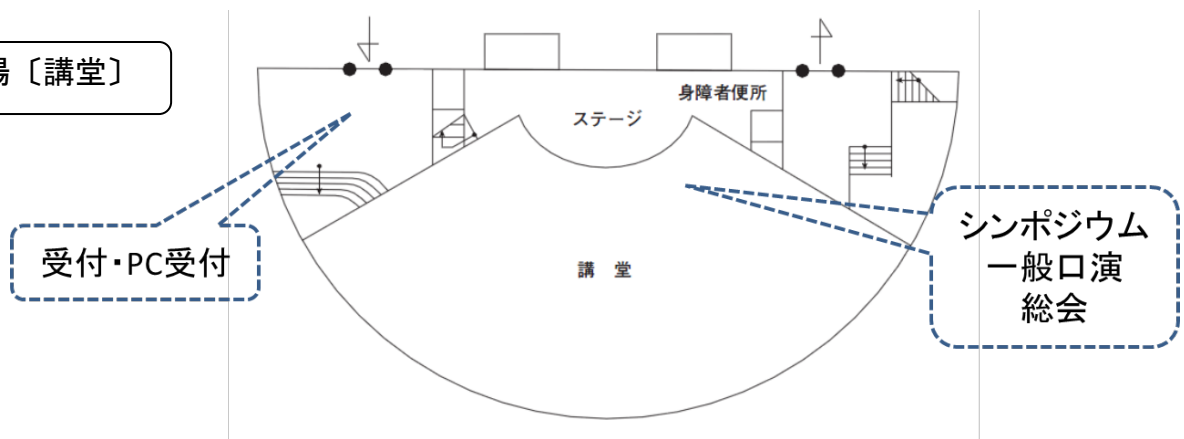
- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-------------|
| 1) 理事会 | 11月16日(金) | 15:00~18:00 | (管理棟・大会議室) |
| 2) 若手の会 | 11月16日(金) | 16:30~19:00 | (校舎棟・大視聴覚室) |
| 3) 評議員会 | 11月17日(土) | 12:10~13:10 | (校舎棟・大視聴覚室) |
| 4) 総会 | 11月18日(日) | 10:50~11:50 | (講堂) |
| 5) 資格認定委員会 | 11月18日(日) | 11:50~12:50 | (管理棟・中会議室) |
| 6) 研究部会代表者会議 | 11月18日(日) | 11:50~12:50 | (管理棟・大会議室) |

【会場案内】

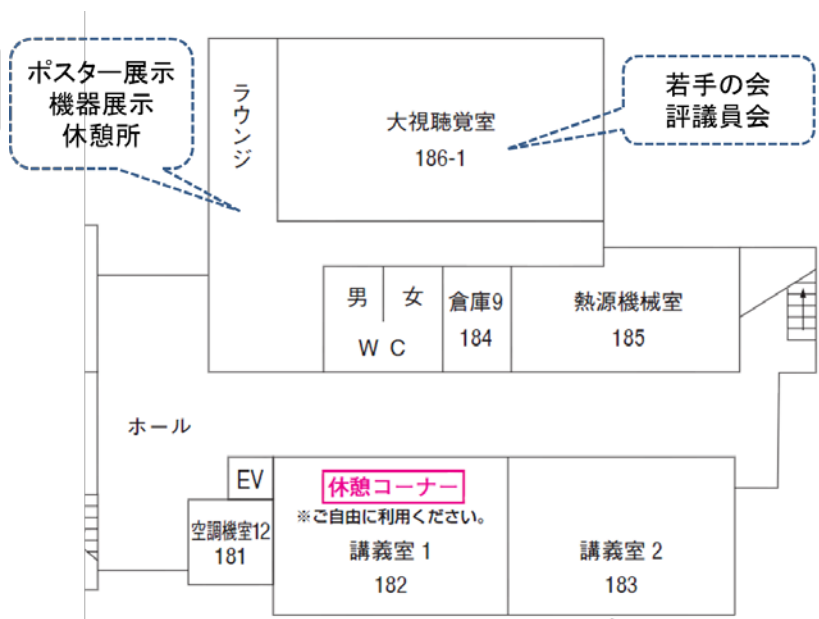
首都大学東京荒川キャンパス



第1会場〔講堂〕



第2会場 〔校舎棟・大視聴覚室〕



【プログラム】

大会 1 日目 11 月 17 日 (土)

開会 9 : 25

一般口演セッション 1 9 : 30~10 : 10

座長 : 仲村匡司 (京都大学)

01-1 森林セラピーが前頭前野活動に及ぼす影響—携帯型 NIRS を用いて—

○池井晴美¹, 小松実紗子¹, 宋チョロン¹, 英賀真理子¹, 五十嵐美穂¹, 李宙営², 李スミン¹,
香川隆英³, 小林宏光⁴, 宮崎良文¹

¹千葉大学環境健康フィールド科学センター

²韓国山林庁

³独立行政法人 森林総合研究所

⁴石川県立看護大学

01-2 オレンジならびにバラ精油の嗅覚刺激がもたらす生理的効果

○小松実紗子¹, 池井晴美¹, 宋チョロン¹, 阿部街¹, 李スミン¹, 李宙営², 宮崎良文¹

¹千葉大学環境健康フィールド科学センター

²韓国山林庁

01-3 森林セラピーにおける個人差の解明 - 「初期値の法則」を用いて -

○宋チョロン¹, 池井晴美¹, 小松実紗子¹, 李宙営², 李スミン¹, 朴範鎭³, 小林宏光⁴,
宮崎良文¹

¹千葉大学環境健康フィールド科学センター

²韓国山林庁

³忠南大学校農業生命科学大学

⁴石川県立看護大学

01-4 天然乾燥ならびに人工乾燥チップの嗅覚刺激がもたらす生理的影響の違い

○宮崎良文¹, 李スミン¹, 宋チョロン¹, 小松実紗子¹, 池井晴美¹, 阿部街¹, 五十嵐美穂¹, 英
賀真理子¹, 小山貴史², 小山英文³, 小山憲治⁴, 李宙営⁵

¹千葉大学環境健康フィールド科学センター

²エコワークス(株)

³新産住拓

⁴(株)すまい工房

⁵韓国山林庁

座長：前田享史（北海道大学）

01-5 熱帯出生者と温帯出生者の皮膚温度感受性の季節変動

○虎本紗代¹, Titis Wijayanto¹, 前田康彦¹, 栢原裕²

¹九州大学大学院 芸術工学府

²九州大学大学院 芸術工学研究院

01-6 日本人と日本滞在中国人の手指における局所血管収縮反応に関する研究

○朱文龍¹, 宮城舜², 鷲塚愛¹, 田井村明博¹

¹長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 環境生理学研究室

²長崎大学 環境科学部 環境生理学研究室

01-7 Decay of heat acclimatization in sweating responses to hot water leg immersion in Tropical Asian males residing in Japan

○Titis Wijayanto¹, 虎本紗代¹, 若林齊², 前田康彦¹, 栢原裕³

¹九州大学大学院芸術工学府

²千葉工業大学工学部

³九州大学大学院芸術工学研究院

01-8 mtDNA 多型及び季節性順応が穏やかな寒冷暴露時の生理反応に与える影響

○西村貴孝¹, 本井碧², 二里洋輔², 星良和³, 近藤隆一郎⁴, 綿貫茂喜⁵

¹九州大学大学院芸術工学府, 日本学術振興会特別研究員DC

²九州大学大学院統合新領域学府

³東海大学農学部

⁴九州大学大学院農学研究院

⁵九州大学大学院芸術工学研究院

休憩

10:50~11:00

座長：北村真吾（国立精神・神経医療研究センター）

01-9 LEDの調光方式がメラトニン分泌に及ぼす影響

○荒田俊彦，永野和希，小崎智照
九州大学芸術工学府

01-10 社会的刺激に対するP300の共感特性による違い

○崔多美¹，浦本麻未¹，木崎みのり²，綿貫茂喜³
¹九州大学大学院統合新領域学府
²九州大学芸術工学部
³九州大学大学院芸術工学研究院

01-11 嗅覚刺激と視覚刺激の調和度が生理心理反応に与える影響

○宇留嶋拓斗¹，西村貴孝²，本井碧¹，崔多美¹，綿貫茂喜³
¹九州大学大学院統合新領域学府
²九州大学大学院芸術工学府，日本学術振興会特別研究員DC
³九州大学芸術工学研究院デザイン人間科学部門

01-12 異なる茶香の摂取が脳波活動に与える影響

○陽東藍¹，横越英彦²，中山勉³
¹公益財団法人 静岡県産業振興財団
²中部大学応用生物学部食品栄養科学科
³静岡県立大学食品栄養科学部食品生命科学科

01-13 非固定視野視線解析システムの構築

○徳志偉，下村義弘，勝浦哲夫
千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻

01-14 低レベル騒音が認知課題成績，脳酸素動態および心臓血管系反応に及ぼす影響と相互の関係

○新岡正¹，大貫宗一郎^{2,3}
¹北海道大学大学院地球環境科学研究院環境適応科学分野
²北海道大学大学院環境科学院
³独立行政法人 製品評価技術基盤機構

01-15 触覚刺激およびオノマトペ呈示時の脳波の特徴

○江頭優佳¹, 本井碧¹, 高倉潤也¹, 綿貫茂喜²

¹九州大学大学院統合新領域学府

²九州大学大学院芸術工学研究院

昼休み

12:10~13:10 [評議員会 第2会場・大視聴覚室]

ポスターセッション1 13:10~14:10

P1-1 食事制限によるストレス耐性の増強 - インスリンの影響 -

○河野比良夫¹, 甲田勝康², 中村晴信³, 菌田精昭¹

¹関西医科大学 衛生学教室

²近畿大学医学部 公衆衛生学

³神戸大学大学院・人間発達環境学研究科

P1-2 食事パターンが若年成人の自律神経活動に及ぼす影響

○小原久未子¹, 沖田善光², 甲田勝康³, 間瀬知紀¹, 宮脇千恵美¹, 中村晴信¹

¹神戸大学大学院人間発達環境学研究科

²静岡大学創造科学技術大学院

³近畿大学医学部公衆衛生学

P1-3 精神性発汗を新生児で測定するための計測プローブ及び手技の検討

○掛田崇寛, 判治康代

川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科

P1-4 筋電図による製品の使いやすさ評価

○横幕敦司¹, 渡辺直¹, 下村義弘², 勝浦哲夫²

¹ライオン株式会社研究開発本部包装技術研究所

²千葉大学 大学院工学研究科デザイン科学専攻 人間生活工学研究室

P1-5 VDT 画面における同一明度差のグレースケール配色が生理反応と作業効率に及ぼす影響

○片山徹也¹, 庄山茂子², 栃原裕³

¹長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 外国語学科・国際交流学科

²長崎県立大学大学院

³九州大学大学院芸術工学研究院

P1-6 ユーザインタフェースの操作時の脳活動に関する研究

○宮本怜¹, 槇得達也¹, 石田祥悟², 西村悠貴³, 磯田和生⁴, 久永一郎⁴,
ステファニー・オルリック⁵, 樋口重和⁶

¹九州大学大学院統合新領域学府

²九州大学芸術工学部

³九州大学 21 世紀プログラム課程

⁴大日本印刷株式会社

⁵ルーヴル美術館

⁶九州大学大学院芸術工学研究院

P1-7 利き手の違いが模倣課題中の反応時間に及ぼす影響

○森洋貴¹, 上原信太郎^{1,2}, 山本真史^{1,2}, 相原健志¹, 松村道一¹

¹京都大学大学院 人間・環境学研究科

²日本学術振興会

P1-8 観察視点の違いが模倣動作に及ぼす影響の検討 -fMRI study-

○渡邊塁¹, 樋口貴広¹, 菊池吉晃²

¹首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 ヘルスポモーションサイエンス学域

²首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 フロントヘルスサイエンス学域

P1-9 他者運動観察において社会的相互作用の有無が神経活動に与える影響

○相原健志¹, 上原信太郎^{1,2}, 山本真史^{1,2}, 森洋貴¹, 松村道一¹

¹京都大学大学院 人間・環境学研究科

²日本学術振興会

P1-10 社会的刺激に対する P300 の男女差

○木崎みのり¹, 崔多美², 浦本真美², 西村貴孝³, 綿貫茂喜⁴

¹九州大学芸術工学部

²九州大学大学院統合新領域学府

³九州大学大学院芸術工学部, 日本学術振興会特別研究員DC

⁴九州大学大学院芸術工学研究院

P1-11 人体の性的魅力に関する研究

○小島佳織, 山崎和彦

実践女子大学生活科学部生理人類学研究室

P1-12 ピアノ打鍵の言語的イメージと上肢筋活動および発揮音圧の差違

○石垣享¹, 掛谷勇三², 中村ゆかり³

¹愛知県立芸術大学 美術学部

²愛知県立芸術大学 音楽学部

³京都市立芸術大学大学院

休憩

14:10~14:20

一般口演セッション4 14:20~15:20

座長：野口公喜（パナソニック株式会社）

01-16 睡眠負債は扁桃体-前頭前野間の機能的結合の減弱を介して、ネガティブな情動反応を惹起する

○元村祐貴¹, 北村真吾², 大場健太郎², 寺澤悠理², 片寄泰子², 榎本みのり², 肥田昌子², 守口善也², 樋口重和³, 三島和夫²

¹九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻

²国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

³九州大学芸術工学研究院

01-17 就寝前ココア摂取が睡眠に与える影響

○高橋良香¹, 亀井優徳², 戸渡（上野）智子¹, 李スミン¹, 下村義弘¹, 勝浦哲夫¹

¹千葉大学 工学部 デザイン学科 人間生活工学研究室

²森永製菓株式会社

01-18 運動が睡眠時心拍に及ぼす影響

○大橋絵里子, 疋田あかり, 東風谷祐子, 市丸雄平

東京家政大学臨床栄養情報研究室

01-19 概日リズム位相による気分変動の個人差

○北村真吾¹, 肥田昌子¹, 榎本みのり¹, 渡邊真紀子¹, 片寄泰子¹, 野崎健太郎¹, 有竹清夏^{2,3}, 樋口重和⁴, 守口善也¹, 亀井雄一¹, 三島和夫¹

¹国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神生理研究部

²東京医科大学 精神医学講座

³日本学術振興会 特別研究員

⁴九州大学大学院芸術工学研究院

01-20 模倣的夜勤時の仮眠がメラトニン分泌に及ぼす影響

○西剛史¹，李相逸²，原田和樹²，永渕祐規²，市川衛³，高橋正也⁴，樋口重和⁵

¹九州大学芸術工学部工業設計学科

²九州大学統合新領域学府

³NHK福岡放送局

⁴独立行政法人労働安全衛生総合研究所

⁵九州大学大学院芸術工学研究院

01-21 敷き寝具の違いが低温環境での入眠過程に及ぼす影響

○水野一枝¹，水野康²，松浦倫子³，松尾藍⁴，岩田有史⁴，白川修一郎^{3,5}

¹東北福祉大学感性福祉研究所

²東北福祉大学子ども科学部

³株式会社睡眠評価研究機構

⁴株式会社イワタ

⁵国立精神神経医療研究センター

休憩 15 : 20～15 : 25

一般口演セッション5 15 : 25～16 : 25

座長：石橋圭太（千葉大学）

01-22 風の効果を観察するための送風機の特性について

○山崎和彦¹，前田亜紀子²，大久保千穂¹

¹実践女子大学生活科学部生理人類学研究室

²群馬大学教育学部

01-23 自動車ドア閉音呈示時の事象関連電位の特徴

○東島裕¹，本井碧¹，雀多美¹，西村貴孝²，眞子翼³，綿貫茂喜⁴

¹九州大学大学院統合新領域学府

²九州大学大学院芸術工学府，日本学術振興会特別研究員DC

³トヨタ自動車九州株式会社

⁴九州大学大学院芸術工学研究院

01-24 顎および口腔ケア用具の運動解析

○下村義弘¹，金丸直史²，森口純²，小林利彰²，山本高司²，勝浦哲夫¹

¹千葉大学 大学院工学研究科 人間生活工学研究室

²ライオン株式会社 研究開発本部 オーラルケア研究所

01-25 事象関連電位とSD法による印象評価の関連性

○本井碧¹，東島裕¹，西村貴孝²，眞子翼³，綿貫茂喜⁴

¹九州大学大学院統合新領域学府

²九州大学大学院芸術工学府，日本学術振興会特別研究員DC

³トヨタ自動車九州株式会社

⁴九州大学芸術工学研究院

01-26 眉メイクの出来栄えと動作に関する研究 —若年女性と高齢女性の比較—

○池山和幸¹，志田周子²，豊泉深秋²，下村義弘²，勝浦哲夫²

¹株式会社資生堂 リサーチセンター

²千葉大学大学院工学研究科人間生活工学研究室

01-27 触れる行為の認知神経科学的検討

○白土真紀^{1,2}，町田明子¹，井上俊枝¹，高田定樹¹，則内まどか^{2,3}，菊池吉晃²

¹株式会社資生堂 リサーチセンター

²首都大学東京 人間健康科学研究科

³東京都医学総合研究所

休憩 16:25～16:35

シンポジウム 1 16:35～18:10

「ヒトの情動 —新たな視点を求めて—」

座長：宮崎良文（千葉大学）

シンポジスト

菊池吉晃（首都大学東京） 「人間性を支える情動の神経基盤 -その適応的メカニズム-」

星 詳子（東京都医学総合研究所）「マインド/ブレイン-ヒューマン・インターフェイス」

指定質問者

勝浦哲夫（千葉大学）

安河内朗（九州大学）

座長：下村義弘（千葉大学）

02-1 自転車エルゴメーター駆動時の主観的運動強度と実測心拍数との関係（第 3 報）

○渡邊紳一¹，西元悠莉¹，反町睦¹，松尾崇¹，高橋勝美¹，大瀧保明¹，砂川憲彦^{2,3}，
高橋龍尚⁴，新関久一⁵，齊藤直⁵，柳田裕隆⁵

¹神奈川工科大学創造工学部

²帝京平成大学

³早稲田大学大学院

⁴旭川医科大学

⁵山形大学

02-2 心拍変動自律神経解析における呼吸統制が t 検定の検出力に与える影響（第 2 報）

○不破輝彦

職業能力開発総合大学校 機械システム工学科

02-3 サイン波負荷を用いたガス交換動態に及ぼす歩行様式の影響

○福岡義之¹，安部大治郎²，古賀俊策³，福場良之⁴

¹同志社大学スポーツ健康科学部

²九州産業大学

³神戸芸術大学人間工学

⁴ 県立広島大学

02-4 局所冷却による前腕部組織温度の低下と骨格筋酸素摂取量の変化

○若林斉¹，西村貴孝²，Titis Wijayanto²，綿貫茂喜²，栃原裕²

¹千葉工業大学工学部

²九州大学大学院芸術工学研究院

02-5 正弦波下半身陰圧に対する循環調節反応の加法性について

○石橋圭太¹，恒次祐子²，岩永光一¹

¹千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻

²(独)森林総合研究所 構造利用研究領域

02-6 荷重運動負荷が酸素摂取量、心拍数、加速度におよぼす影響

○疋田あかり，大橋絵里子，東風谷裕子，市丸雄平
東京家政大学臨床栄養情報研究室

02-7 近年の労働災害における転倒の発生状況の特徴と求められる対策

○大西明宏，清水尚憲，高橋明子
独立行政法人労働安全衛生総合研究所 人間工学・リスク管理研究グループ

02-8 身体活動レベルおよび座業的行動と健康危険因子との関連

○木村靖夫¹，大木和子²，清水史子³，久富守⁴，池上寿伸⁵
¹Fitness & Health Sciences 研究所
²昭和女子大学 生活機構研究科
³昭和女子大学 生活科学部
⁴西九州大学 短期大学部
⁵佐賀大学 文化教育学部

総会 10：50～11：50

昼休み 11：50～12：50

ポスターセッション1 12：50～13：50

P2-1 心身の緩和法に関する調査研究

○大熊沙織¹，前田亜紀子²，山崎和彦¹
¹実践女子大学 生活科学部 生理人類学研究室
²群馬大学教育学部

P2-2 園芸作業がもたらす生理的・心理的効果に関する研究の現状

○英賀真理子¹，李ミンソン²，宋チョロン¹，小松実紗子¹，池井晴美¹，李宙營³，
朴範鎮²，宮崎良文¹
¹千葉大学環境健康フィールド科学センター
²韓国忠南大学校農業生命科学大学
³韓国山林庁

P2-3 シソの医薬品・食品としての機能に関する研究の現状

○五十嵐美穂，宮崎良文

千葉大学環境健康フィールド科学センター

P2-4 バラ生花の刺激がもたらす生理的リラックス効果—114名の結果から—

○池井晴美¹，小松実紗子¹，宋チョロン¹，松永慶子²，日諸恵利³，李宙宮⁴，宮崎良文¹

¹千葉大学環境健康フィールド科学センター

²松永病院 老人保健施設エルダリーガーデン

³みずほ情報総研株式会社

⁴韓国山林庁

P2-5 音刺激がストレス回復に及ぼす影響～心音とホワイトノイズの比較～

○宮城舜¹，朱文龍²，鷺塚愛²，田井村明博²

¹長崎大学 環境科学部 環境生理学研究室

²長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 環境生理学研究室

P2-6 穏やかな寒冷曝露が自律神経系の活動とコルチゾール反応に与える影響

○楢本吏子¹，西村貴孝²，本井碧³，二里洋輔³，綿貫茂喜⁴

¹九州大学 芸術工学部

²九州大学大学院芸術工学府，日本学術振興会特別研究員DC

³九州大学大学院統合新領域学府

⁴九州大学大学院芸術工学研究院

P2-7 寒冷曝露時の産熱反応とその季節差について

○櫻井大樹¹，前田享史²，森岡真也¹，鷹野翔一¹，倉前正志²，横山真太郎³

¹北海道大学工学院空間性能システム専攻環境人間工学研究室

²北海道大学工学研究院

³北翔大学

P2-8 寒冷誘発血管拡張反応と加速度脈波の関係

○竹中基裕¹，前田享史²，飯田有俊¹，横山真太郎³，倉前正志²

¹北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻

²北海道大学大学院工学研究院

³北翔大学

P2-9 発汗・産熱亢進時の体温閾値とその季節差について

○森岡真也¹，前田享史¹，岡田恭明¹，櫻井大樹¹，倉前正志²，横山真太郎²

¹北海道大学大学院工学研究院空間性能システム部門

²北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科

P2-10 圧迫負荷に対する末梢循環反応について

○飯田有俊¹，前田享史²，竹中基裕¹，岸野慎太郎¹，横山真太郎³，倉前正志²

¹北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻

²北海道大学大学院工学研究院空間性能システム部門

³北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科

P2-11 常温低温における低圧曝露時の生理反応について

○二里洋輔¹，西村貴孝²，本井碧¹，崔多美¹，星良和³，近藤隆一郎⁴，綿貫茂喜⁵

¹九州大学大学院統合新領域学府

²九州大学大学院芸術工学府，日本学術振興会特別研究員DC

³東海大学農学部

⁴九州大学大学院農学研究院

⁵九州大学大学院芸術工学研究院

P2-12 一定負荷長時間運動時の自律神経活動が心拍ドリフトに及ぼす影響

○連長順¹，有光琢磨^{1,2}，山中亮^{1,2}，白川和希¹，柚木孝敬³，矢野徳郎³

¹北海道大学大学院 教育学院 健康教育論講座

²国立スポーツ科学センター

³北海道大学大学院 教育学研究院 人間発達科学分野

休憩 13 : 50 ~ 14 : 00

一般口演セッション7 14 : 00 ~ 14 : 50

座長 : 小林法一 (首都大学東京)

02-9 高齢者の脊柱形態と静止立位中の体節別重心動揺との関係

○竹内弥彦¹，大谷拓哉¹，雄賀多聡¹，三和真人¹，下村義弘²

¹千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

²千葉大学大学院工学研究科

02-10 都市在住男性高齢者における運動セルフ・エフィカシーに関連する要因について

○高井逸史¹，井上健太郎²

¹大阪物療大学 保健医療学部

²寺田万寿病院リハビリテーション科

02-11 疲労を伴う筋収縮後に見られる神経調節の全身性変化—伸張反射を指標として—

○松浦亮太，緒方徹

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部

02-12 頸髄損傷者の深部体温モニタリングに関する研究

その1 頸髄損傷者の口腔温と皮膚温の関係について

○三上功生¹，蜂巢浩生²

¹日本大学生産工学部

²日本大学理工学部

02-13 リウマチ患者と健常者の歩行運動の違い

○単盈盈¹，下村義弘¹，山中晶子²，勝浦哲夫¹

¹千葉大学工学研究科 デザイン科学専攻 人間生活工学研究室

²ブライト・ソレイルズ株式会社

休憩 14：50～15：00

シンポジウム2 15：00～16：30

「ニューロマーケティング —脳科学への期待—」

座長：岩永光一（千葉大学）

シンポジスト

白土真紀（株式会社資生堂） 「脳科学的手法を用いた製品や店頭サービスの開発」

金田弘拳（サッポロホールディングス株式会社）「ビールのおいしさを求めて」

小早川達（産業技術総合研究所）「ニューロマーケティング：企業と研究機関の実りある協業に向けて」

閉会 16：30